

本校が目指す5年後の姿(具体的な目標)

1 学校の現状や課題

昭和18年、旧制秋田県立湯沢中学校として創立され、「師弟共励」を建学のこころとして、多くの有為な「人財」を輩出してきました。湯沢雄勝地区の進学を中心校として、次世代リーダーを育成するため、進学実績だけではなく部活動や学校行事などにおける活躍も期待されています。

平成18年度入試より、普通・理数科としてくり募集を実施し、2年次から普通科と理数科に分かれ、さらに普通科は文型か理型のコースを選択し、各自の夢の実現に向け学習しています。

湯沢雄勝地区は、県内でも人口減少と少子化が急速に進んでいる地区です。本校は、当地区の発展に欠かすことのできない中心校としての役割を担っており、今後も地域住民や同窓生の御協力をいただきながら、小・中学校や大学との連携を深め、生徒や保護者の希望を実現し、地域の期待と信頼に応えられる学校であり続けることが求められています。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

少子化が一層進み、学級数の減少と教職員定数の減少により多様な教育課程の編成が制限されるだけでなく、部活動や学校行事などにも影響が出てくることが予想されます。しかしながら、こうした状況の中でも、本校の特色ある教育活動を展開していく必要があります。

3 目指す方向性や学校像

「社会を生き抜く力と高い志を育てる教育」を実践するため、学校を取り巻く状況がどのように変化しても、豊かな人間性を育む教育理念の推進と学習意欲に燃える校風の発揚を目指して努力する姿勢は変わりません。国公立大学への進学希望をもつ生徒や保護者の期待に応え、将来、地域の政治・経済や医療・福祉、教育・文化のリーダーとなる生徒を育てたいと考えています。特に、地域の要請でもある医学部医学科へ進学する生徒を毎年複数名育てるために、授業のねらいや目標達成に向けて日々の授業改善に努め、生徒の自主性を育む教育を今まで以上に意識的に取り入れていきます。また、人間教育への効果が高い部活動、学校行事、校外活動にも力を入れていきたいと考えています。

4 5年間で達成を目指す具体的な目標

本校では、生徒一人一人の進路志望達成を最大の目標としています。そして、国公立大学への進学を希望する生徒が圧倒的に多い現状から、国公立大学現役合格者数を学年全体の55%以上、東北大学を始めとする難関大学合格者数を10名以上、国公立大学医学部医学科への合格者数を複数にすることを具体的な目標とします。

具体的な取組等

1 キャリア教育の推進～秋田と日本の発展・成長を力強く牽引できる人財の育成～

本校のキャリア教育において、将来何を学び、それをどう生かすのかを考え、社会のために貢献したいと思う生徒を育てることを推し進めていきます。生徒の社会性に磨きをかけ、ふるさとのことを心にかけてながら国内外で活躍し貢献する「人財」を育てていかなければなりません。そのために、次のことに取り組みます。

- (1) 学校教育のすべてがキャリア教育であるという視点を共有し、計画を立てることで、問いを見つけ、協働し、問題を解決していく力を育み、主体的で対話的な深い学びを追究していきます。また、生徒が高い志をもち、早い段階で進路目標を確定させることができるような機会を多くつくりまします。
- (2) 各界で活躍している本校卒業生を招き、「先輩に学ぶ（仮称）」と題して講演していただき、進路目標達成の一助にします。また、卒業生のみならず、秋田を拠点にして活躍している方々の職業観や人生観に触れる機会もつくり、多様な進路選択を促したいと考えています。
- (3) 現在も実施している、大学教員による出前授業である「アドバンスト講義」を更に充実させ、保護者や地域の皆様の参加も促進します。
- (4) 湯沢雄勝地域の行事やボランティア活動等への積極的な参加を促します。地域との連携を深めると同時に、生徒自身が地域を知ることにもなり、ふるさとを愛する心の育成につながるものと考えています。
- (5) 体験的・探究的活動を通じて、地域や社会が抱える課題に目を向け、自らの考えを国内外に発信する力を育てていきます。そのために英語で発表する機会も設定していきます。

特に平成30年度入学生からは、「総合的な学習の時間」をこれまで以上に活用し、生徒がグループをつくって主体的にテーマを設定して探究活動を実践します。その中では、地元や日本の特色や課題を比較、検証しながら論理的に考察することを促し、世界及び地域全体のために解決、発展策を考えていく「グローバルな視点」を備えたリーダーの育成にもつなげていきます。

2 県や市町村、諸団体との連携強化

上級学校を卒業後、地元で就職を考えたとき、専門的な職種はきわめて限られています。県や市町村、当該団体と連携を強化し、若い優秀な人材が地元で就職できる受け皿を確保する必要があります。

本校は平成24年度に、県教育委員会より「キャリア教育実践モデル校」に指定され、これを契機に、医療系志望者を対象にインターンシップを行っておりますので、他の職種希望者へのインターンシップも拡充していきたいと考えます。

3 部活動の強化

運動部、文化部を問わず、全国大会出場と全国大会での活躍を目指して、生徒の自主的な活動を支援したいと考えます。生徒数の減少に伴い、部活動の精選と焦点化が必要ですが、当地域で盛んな競技に関しては、中学校との連携を行い、継続的な指導のもとで、全国優勝を目指します。また、市内の中学校の合唱や吹奏楽の裾野は広くレベルも高いので、全国大会金賞も目指していきたいと考えます。

4 進学実績の向上

「全県一生徒が伸びる学校、生徒を伸ばす学校」をキャッチフレーズに、より一層充実した進学指導を推進し、国公立大学合格者と医学部医学科合格者を育てるために、地道な進学指導を継続し、生徒の内面から学習意欲を高める工夫を行います。また、教員の授業力向上のため、組織的に授業研究会を開催したり校外の各種研究会に出席したりして、計画的かつ継続的に工夫した指導を行っていきます。